

## 二次製品 防火水槽 (耐震構造)

(一般財団法人 日本消防設備安全センター) 認定製品  
20㎡型 (認定同等品)・40㎡型

## 二次製品 耐震性貯水槽

(一般財団法人 日本消防設備安全センター) 認定製品  
40㎡型・50㎡型・60㎡型・70㎡型  
80㎡型・90㎡型・100㎡型

弊社の製品は、国庫補助対象施設として、消防庁長官が指定する「一般財団法人 日本消防設備安全センター」が行う二次製品防火水槽及び二次製品耐震性貯水槽の認定製品です。

### 基本事項

1. 二次製品防火水槽  
40㎡型：水槽の容量は、40㎡以上。
2. 二次製品耐震性貯水槽  
40㎡型：水槽の容量は、40㎡以上 60㎡未満。  
60㎡型：水槽の容量は、60㎡以上 100㎡未満。  
100㎡型：水槽の容量は、100㎡以上。

### 設置場所による区分

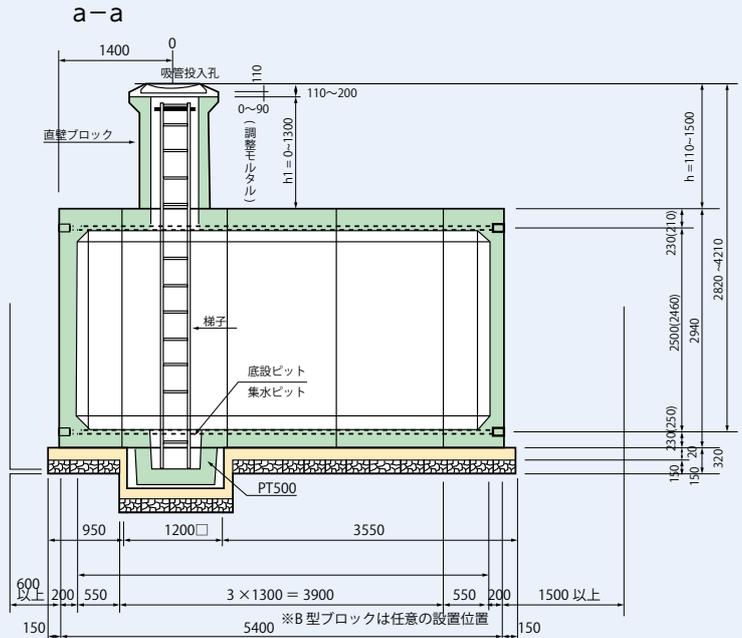
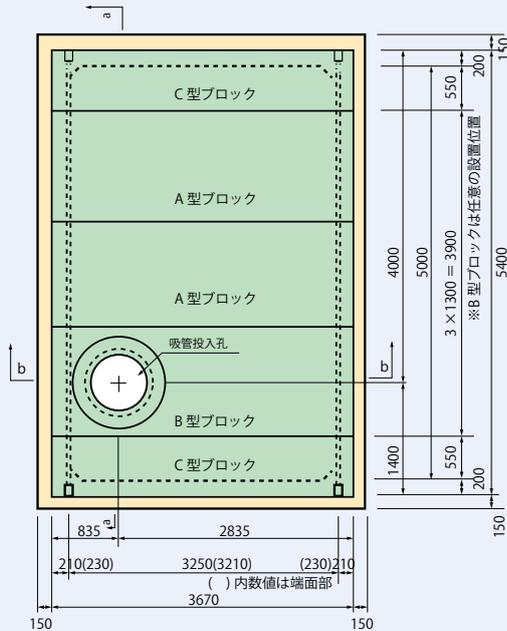
- I 型：自動車が入るおそれのない公園、宅地等の地下に設置するもの。  
II 型：I 型以外の場所の地下に設けるもので総重量 200kN (20tf) の自動車荷重が載荷されるもの。  
III 型：I 型以外の場所の地下に設けるもので総重量 250kN (25tf) の自動車荷重が載荷されるもの。

種別	容量	型式記号	認定番号	設置場所
二次製品等 防火水槽	20㎡	20.066㎡	認定同等品	I 型・II 型
	30㎡	30.570㎡	認定同等品	I 型・II 型
	40㎡	40.038㎡	KWT40-I・II-1.50	I 型・II 型
	40㎡	40.038㎡	KWT40-I・II・III-1.50	I 型・II 型・III 型
二次製品等 耐震性貯水槽	40㎡	40.038㎡	KWT40・50-I・II-1.50	I 型・II 型
	50㎡	50.542㎡	KWT40・50-I・II-1.50	I 型・II 型
	60㎡	61.046㎡	KWT60-I・II-1.50	I 型・II 型
	70㎡	71.550㎡	KWT70-I・II-1.50	I 型・II 型
	80㎡	82.054㎡	KWT80-I・II-1.50	I 型・II 型
	90㎡	92.554㎡	KWT90-I・II-1.50	I 型・II 型
	100㎡	103.062㎡	KWT100-I・II-1.50	I 型・II 型
二次製品等 耐震性貯水槽	40㎡	40.038㎡	KWT40・50-I・II・III-1.50	I 型・II 型・III 型
	50㎡	50.542㎡	KWT40・50-I・II・III-1.50	I 型・II 型・III 型
	60㎡	61.046㎡	KWT60-II・III-1.50	II 型・III 型
	70㎡	71.550㎡	KWT70-II・III-1.50	II 型・III 型
	80㎡	82.054㎡	KWT80-II・III-1.50	II 型・III 型
	90㎡	92.554㎡	KWT90-II・III-1.50	II 型・III 型
	100㎡	103.062㎡	KWT100-II・III-1.50	II 型・III 型

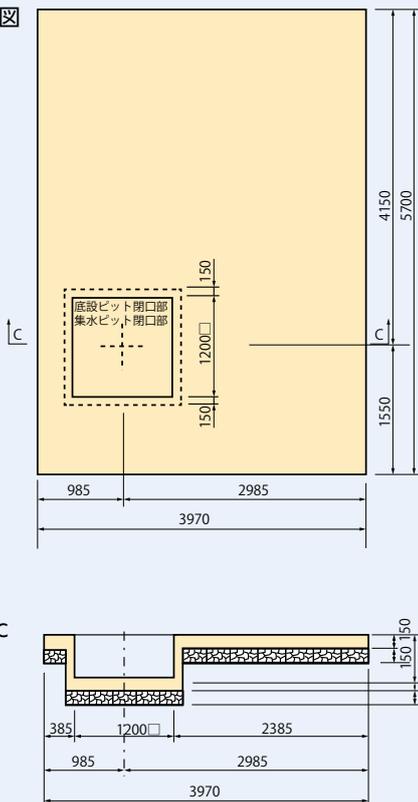
## 二次製品防火水槽40m<sup>3</sup> 二次製品耐震性貯水槽40m<sup>3</sup>

種別	規格	質量
水槽本体	A型ブロック	8805kg
	B型ブロック	8470kg
	C型ブロック	9570kg
吸管投入孔	調整ブロック	165kg
	直壁ブロック	270-1055kg
底設ピット 集水ピット	PT500	730kg

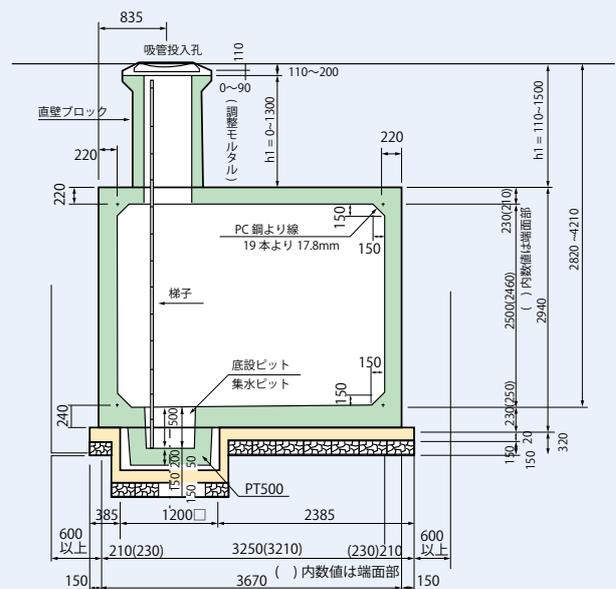
平面図



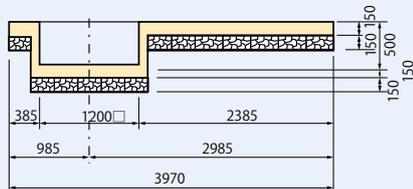
基礎平面図



b-b



C-C

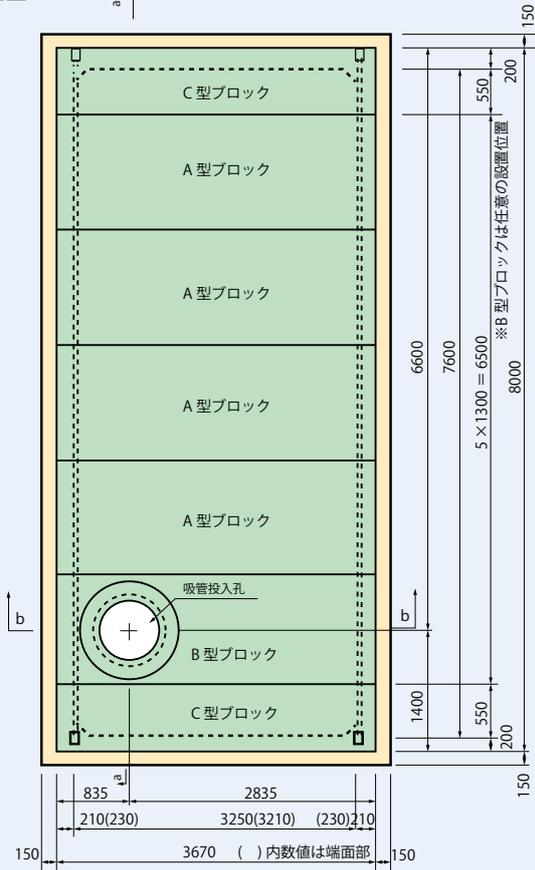


※吸管投入孔は1箇所又は2箇所設置できます。  
図は1箇所を描いたもので、2箇所とする場合はB型ブロックを2箇所使用する組み合わせとなります。

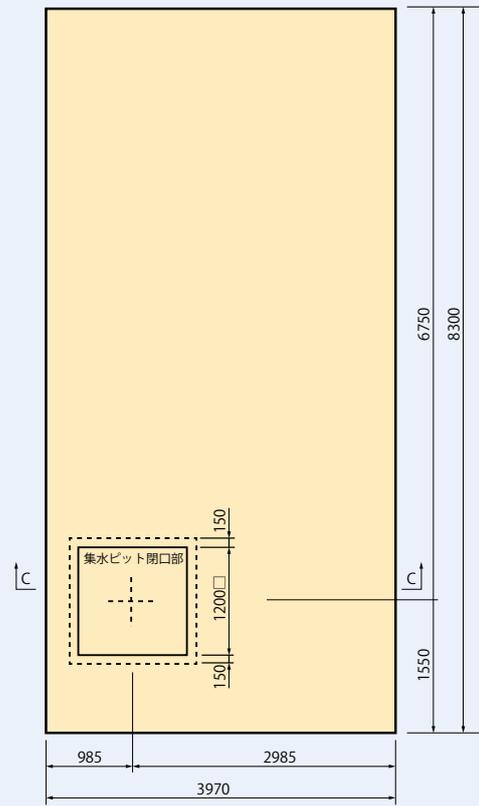
## 二次製品耐震性貯水槽 60m<sup>3</sup>

種別	規格	質量
水槽本体	A型ブロック	8805kg
	B型ブロック	8470kg
	C型ブロック	9570kg
吸管投入孔	調整ブロック	165kg
	直壁ブロック	270・1055kg
集水ピット	PT500	730kg

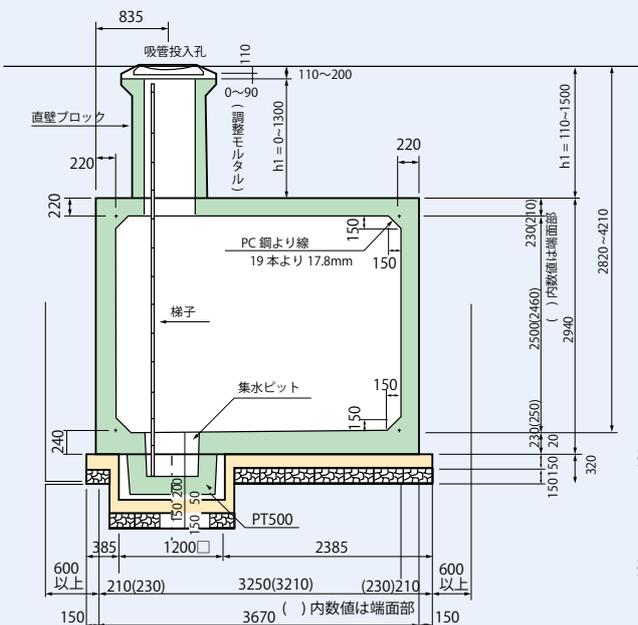
平面図



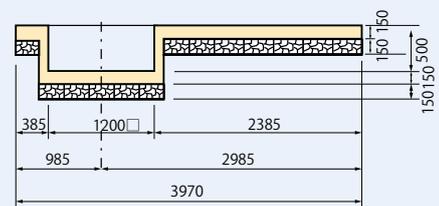
基礎平面図



b-b



C-C

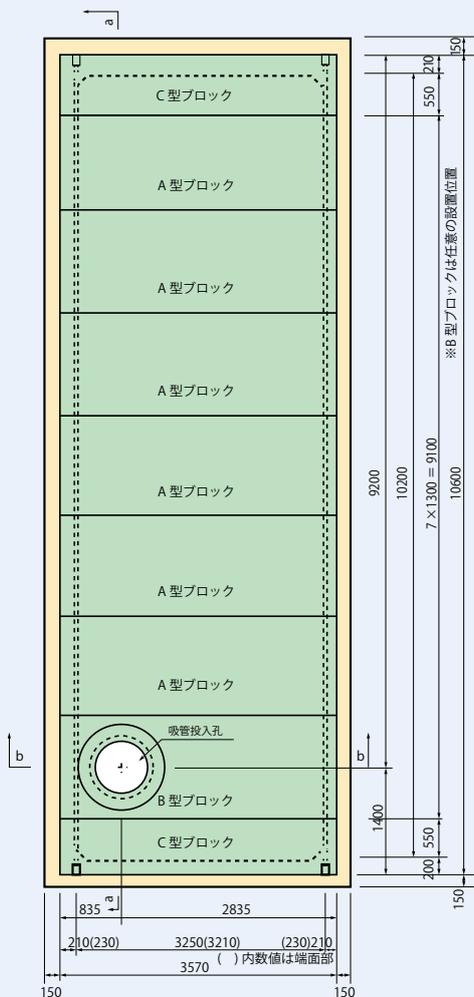


- ※ 1. 吸管投入孔は1箇所、2箇所又は3箇所設置できます。  
図は1箇所を描いたもので、2箇所(3箇所)とする場合はB型ブロックを2箇所(3箇所)使用する組み合わせとなります。
- ※ 2. 上記の他、吸管投入孔2箇所+点検孔1箇所の組合せも可能です。  
点検孔…人孔のみでピットなしの形状(D型ブロックを使用)

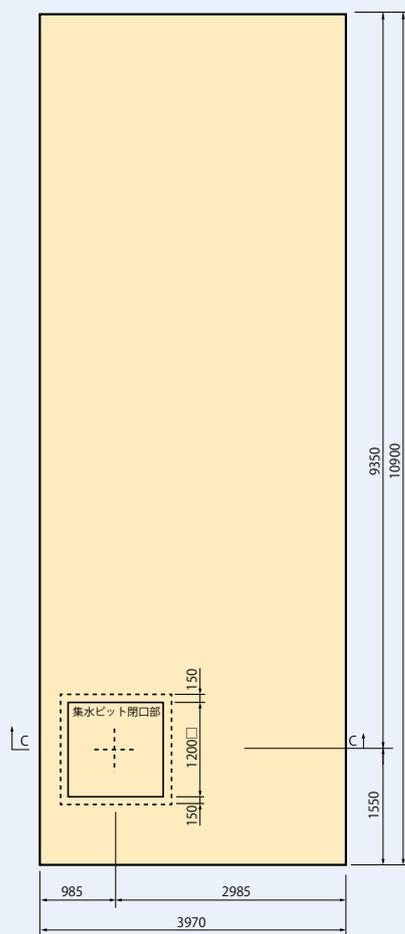
# 二次製品耐震性貯水槽 80m<sup>3</sup>

種別	規格	質量
水槽本体	A型ブロック	8805kg
	B型ブロック	8470kg
	C型ブロック	9570kg
吸管投入孔	調整ブロック	165kg
	直壁ブロック	270・1055kg
集水ピット	PT500	730kg

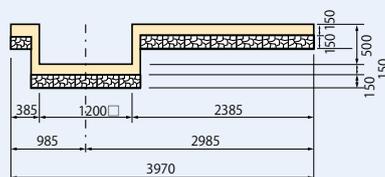
平面図



基礎平面図



C-C



- ※ 1. 吸管投入孔は1箇所、2箇所又は3箇所設置できます。  
図は1箇所を描いたもので、2箇所(3箇所)とする場合はB型ブロックを2箇所(3箇所)使用する組み合わせとなります。
- ※ 2. 上記の他、吸管投入孔2箇所+点検孔1箇所の組合せも可能です。  
点検孔…人孔のみでピットなしの形状(D型ブロックを使用)

共同溝

ボックススカルパート

防火水槽

ボックスガレージ

L型擁壁

水路

貯留槽

河川護岸基礎用  
ブロック

ATMブリス

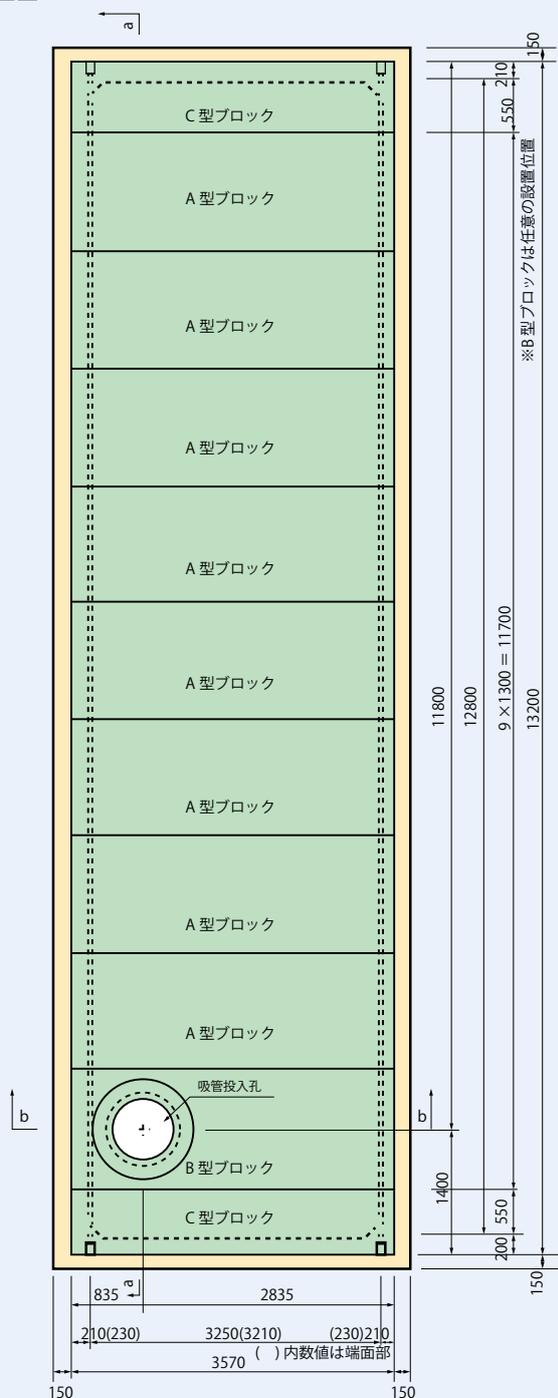
組立歩道

建築部材

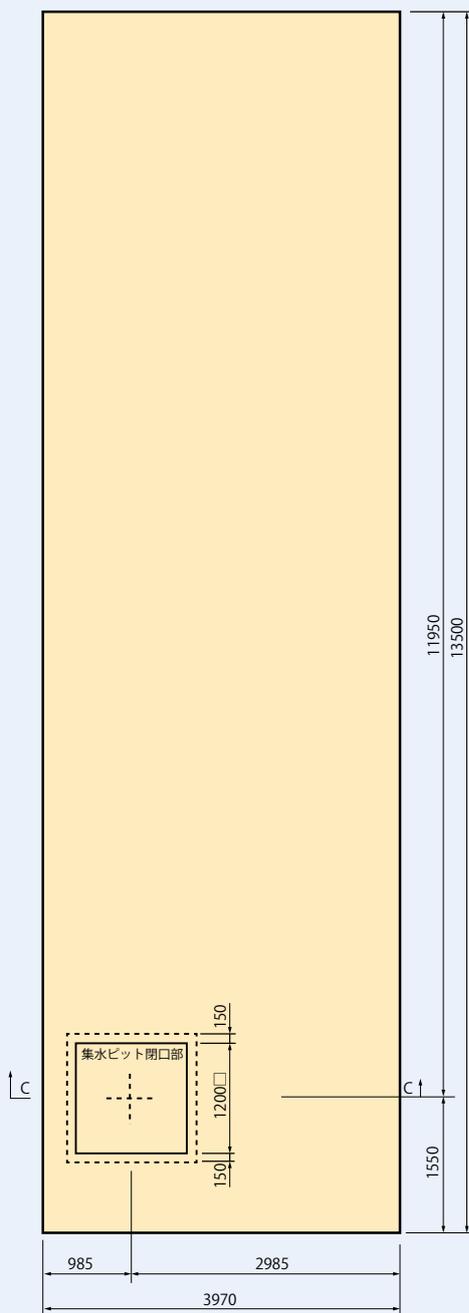
## 二次製品耐震性貯水槽 100m<sup>3</sup>

種別	規格	質量
水槽本体	A型ブロック	8805kg
	B型ブロック	8470kg
	C型ブロック	9570kg
吸管投入孔	調整ブロック	165kg
	直壁ブロック	270・1055kg
集水ピット	PT500	730kg

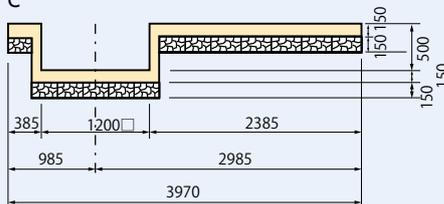
平面図



基礎平面図



C-C

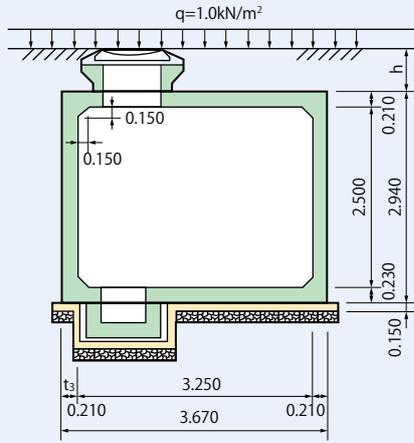


- ※ 1. 吸管投入孔は1箇所、2箇所又は3箇所設置できます。  
図は1箇所を描いたもので、2箇所(3箇所)とする場合はB型ブロックを2箇所(3箇所)使用する組み合わせとなります。
- ※ 2. 上記の他、吸管投入孔2箇所+点検孔1箇所の組合せも可能です。  
点検孔…人孔のみでピットなしの形状(D型ブロックを使用)

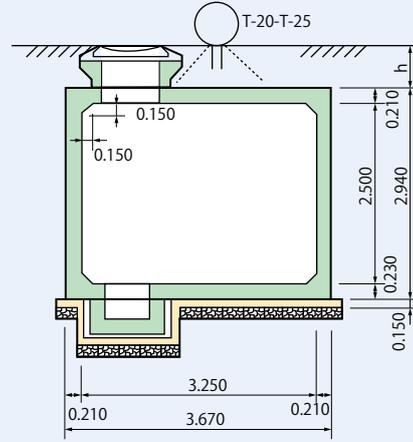


## 地耐力

I 型 (空地用 :  $q = 10.0\text{kN/m}^2$ )



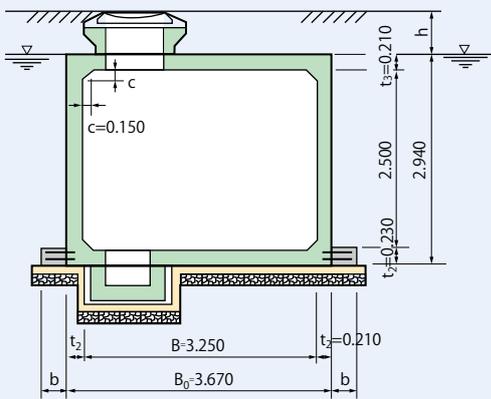
II 型 (道路用 : T20) III 型 (道路用 : T-25)



土被り	h (m)	0.110	0.200	0.300	0.400	0.500	0.600	0.700	0.800	0.900	1.000	1.100	1.200	1.300	1.400	1.500
地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )	I 型 (10kN/m <sup>2</sup> )	52	54	55	57	59	61	63	64	66	68	70	71	73	75	77
	II 型 (T-20)	63	64	66	68	70	71	73	75	77	78	80	82	84	86	87
	III 型 (T-25)	68	69	71	73	75	77	78	80	82	84	85	87	89	91	92

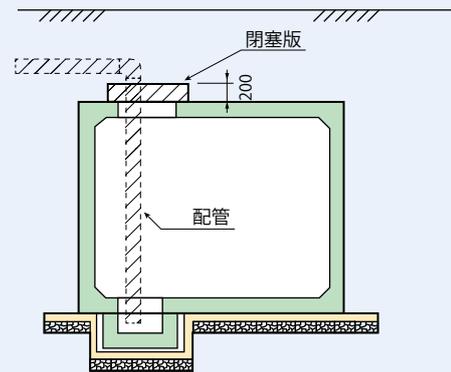
## 浮力対策・閉塞版

浮力対策



浮上の対する安全が確保できない場合、上図のように底板部を場所打ちコンクリートで張出し、浮力に抵抗することが出来ます。

閉塞版



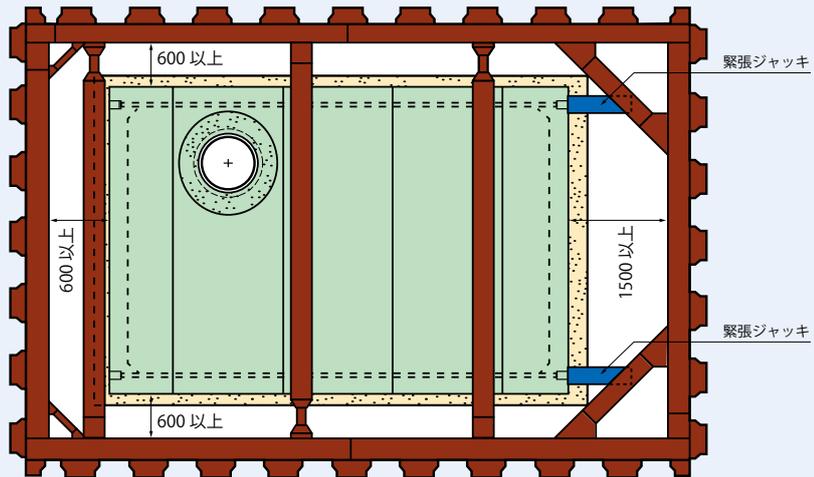
吸管投入孔 2 箇所の場合、うち 1 箇所を閉塞版とすることが出来ます。

閉塞版は、防火水槽 40m<sup>3</sup> (認定番号:防-13001号) 及び耐震性貯水槽 40m<sup>3</sup>, 50m<sup>3</sup> (認定番号:防-13001号) で使用が可能です。



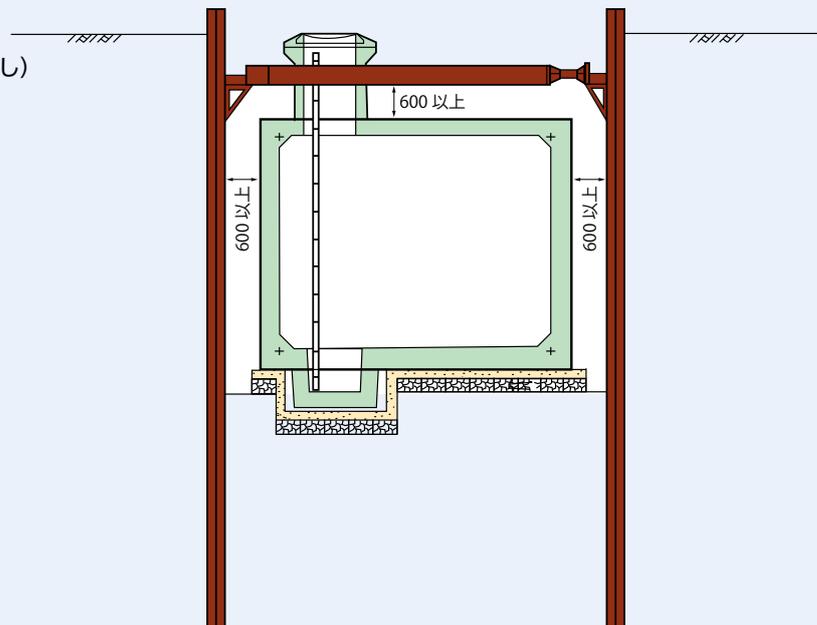
### 仮設土留

#### 山留工の仮設例



#### 土留め(鋼矢板)

#### 鋼製支保工(切梁・腹起し)



共同溝

ボックススカルパート

防火水槽

ボックススガレージ

し型擁壁

水路

貯留槽

河川護岸基礎用  
ブロック

ATMブリス

組立歩道

建築部材